



大砂土小だより

学校教育目標「自ら学び、考えて行動する児童の育成」
～ 認め合い、学び合い、共に育つ ～

<目指す児童像>

かしこい子(知) 明るい子(徳) たくましい子(体)

コミュニケーションを図ることにより、

互いを認め、高め合い、ともに伸びる子

TEL 663-7005

FAX 663-9886

平成29年11月1日 第7号
大砂土小学校 ホームページ <http://osato-e.saitama-city.ed.jp/> メールアドレス osato-e@saitama-city.ed.jp

「人に優しく」

校長 書上 敦志

6年生の風あれこれ。日光で吹かせた爽やかな風…修学旅行では、訪問先やホテル、ハイキングですれ違うハイカーの方々への爽やかな挨拶、みんなの時間を大切に守る、使った部屋を整える、履物を揃えるなど、「時を守り 場を清め 礼を正す」を期待通り実践してくれました。大砂土小で吹かせた優しい風、温かい風、愉快的な風…研究発表会や就学時健康診断では、会場の準備や後片付け、自分たちが卒業していくかわりに入学する予定の後輩たちのために面倒をみてくれた6年生の皆さん。どうもありがとう

優

【田熊先生 書】

さて、この夏、旅行先の岡山県の児島という駅で、アンパンマントロッコ電車が停車しているのを見掛けました。車内は小さなお子さんのいる家族連れやお孫さんを連れのおじい様、おばあ様。皆さん笑顔で楽しそうです。老若男女小さい子から大人まで人気のアンパンマン！丸いフェイスに真っ赤なほっぺ。人気の秘密は「優しい」からではないでしょうか。学校だより第3号6月発行で、「強い子は やさしい子」の話を紹介しました。やさしいは漢字で優しいと書きます。「優」という漢字は、人偏に「憂う」と書きます。人偏は「ひと・人間、自分以外の人・他人」を意味します。「憂」は「うれえる、心配する・心配」という意味をもっています。人に寄り添って心配する様子から「情が深い、情が細やかである、思いやりがある」という意味となります。

雨の降る朝、傘を差さずに先頭を歩いてくる6年生の男の子。挨拶の後、「傘持ってこなかったんだ。帰り止んでいるといいね。」と声を掛けると、「はい。」と言って昇降口へ。1年生とハイタッチをして3年生の持っていた傘を受け取って丸め始める彼。優しいなと思っていたら、そのまま傘をもって6年生の東校舎の方へ歩き始めました。私は彼が自分の傘を同じ登校班の下級生に貸して、自分は雨に濡れてきたことに気づきました。大砂土小学校には、こんな素敵なお子さんがいます。このようなお子さんを育てられた保護者がいます。このような大砂土っ子を育む地域の皆さんがいます。このことを誇りに思います。



誰にも優しい正義の味方！「ア、ア、アンパンマン、優しいきみは、行け、みんなの夢、守るため」。大砂土っ子一人ひとりの笑顔のために、教職員一同努めてまいります。保護者、地域の皆様のご理解、ご協力をよろしくお願いいたします。

10月18日には、さいたま市教育委員会委嘱の研究発表会を開催いたしました。市内、県内各地から約70名の参観者をお迎えして、10組、1年3組、4年5組、5年3組が授業を公開し、熱心な協議を行いました。また、10月28日には、子どもたちが楽しみにしていた「けやきの森まつり」が開催されました。春先から当日までご準備いただきましたけやきの森まつり部の皆様をはじめ、PTA執行部、おやじの会、バザー品を提供いただきました皆様など、ご協力いただきましたすべての皆様に感謝申し上げます。

【学校教育ビジョン：「夢いっぱい 笑顔いっぱい ひとみ輝く大砂土っ子」の育成】